

SGU 四国ゴルフ連盟会報

No.65

発行/四国ゴルフ連盟

松山市福音寺町55-1

〒790-0921

TEL 089-990-3260

FAX 089-990-3261

平成28年度定時総会並びに平成29年度理事会を開催 ～平成29年度事業計画・予算案、任期満了に伴う役員改選など承認～

【総会の概要】

去る2月2日(木)、国際ホテル松山において加盟倶楽部から20名が出席し、(委任状を含め全60倶楽部が参加)、四国ゴルフ連盟定時総会が開催された。

会議では大亀会長から「昨年新設した四国女子シニアは予想を上回る参加者を得て盛会であり、ゴルフ振興のためにも女性ゴルファーを大切にしたい。また、ジュニアの育成強化に力を入れて参りたい」とのあいさつがあり、議事案件を審議した結果、全ての議案が原案どおり可決承認された。

～承認・議決事項～

- ◆平成28年度事業報告・収支決算
- ◆平成29年度事業計画・収支予算
- ◆任期満了に伴う役員人事



【理事会の概要】

上記総会後に理事会を開催

～主な承認・議決事項～

- ◆平成29・30年度会長・常務理事の選出

会 長 大亀孝裕(高原GC)(留任)

常務理事 井関和彦(愛媛GC)、柿谷友造(土佐ユートピアCC)、立石信彦(高松CC)、三谷昭夫(御所CC)(以上留任)

理 事 大塚澄男(高松ランドCC)、喜多俊弘(讃岐CC)、清水康文(土佐CC)、檜垣清隆(今治CC)

藤村 浩(徳島GC)、三木輝久(琴平CC)、真鍋彦介(エリエールGC)、森澤豊明(錦山CC)

森 惟夫(鮎滝CC)、山中健太郎(新居浜CC)(以上留任)

小野幸男(新居浜CC)、鈴木健壽(徳島CC)(以上新任)

監 事 田中 哲(宇和島CC)、本田典孝(志度CC)(以上留任)

- ◆各委員会委員長・副委員長・委員の選任

(総務委員会)委員長 清水康文(留任)

委 員 柿谷友造、後藤義昭(道後GC)、鈴木健壽、玉木一将(アルファ津田CC)

東川 稔(エリエールGC松山)、堀川昌俊(鮎滝CC)(以上留任)

(競技委員会)委員長 山中健太郎 副委員長 能仁 勇(西徳島GC)(以上留任)、佐井重久(土佐CC)(新任)

(HC委員会)委員長 真鍋彦介 副委員長 永井水澄(愛媛GC)(以上留任)、坪井 優(志度CC)(新任)

(競技・HC委員)岩崎一雄(高松ゴールドCC)、坂本晴美(スカイ・ベイGC)、崎山俊紀(今治CC)

高橋献樹(サンセットヒルズCC)、武井峰子(こんびらレイクサイドGC)、谷口由紀江(鳴門CC)

二宮 薫(今治CC)、長谷川學(道後GC)、前田 理(高知GC)、松岡孝雄(エリエールGC)

森 茂幸(鮎滝CC)、渡部靖彦(松山シーサイドCC)(以上留任)、後藤秀男(四国CC)(新任)

(ジュニア委員会)委員長 山中健太郎 副委員長 二宮 薫 普及部会長 川西章子(屋島CC)

発掘育成部会長 森 茂幸 強化部会長 崎山俊紀(以上留任)

委 員 柴田哲朗(スカイ・ベイGC)、神田重廣(高原GC)、菊池和子(エリエールGC松山)

國澤利久(パシフィックGC)、作森信一(ロイヤル高松CC)、高橋献樹、西澤孝幸(四国CC)

福岡浩二(愛媛GC)、三木康彦(レオマ高原GC)(以上留任)

池内早苗(琴平CC)、坂下実利(高ゴ連)(以上新任)

◆平成29年度日本ゴルフ協会分科委員会委員候補者の推薦

- 総務委員会 委員 清水康文(留任)
 税対策部会 鈴木健壽(留任)
 規則委員会 委員 佐井重久(留任)
 競技委員会 政策部会 山中健太郎(留任)
 男子競技運営部会 佐井重久(留任)
 女子競技運営部会 坂本晴美、二宮 薫(以上留任)
 ハンディキャップ委員会 政策部会 真鍋彦介(留任)
 コースレーティング部会 坪井 優(留任)
 競技者育成強化推進本部 普及部会 川西章子(留任)
 発掘育成部会 森 茂幸(留任)

平成29年度ジュニアゴルファー 四国地区指定強化選手を選定

平成28年12月2日、第1回ジュニア委員会が開催され、三部会長からの活動報告や各県のジュニア育成活動の報告とともに、次年度の四国地区指定強化選手(男子8名、女子9名)が選定された。選定に当たっては平成28年度の四国ジュニア選手権、四国学年別チャンピオン決定戦などの成績を参考に決定した。(下表のとおり)

指定された強化選手の中から男女各3名を8地区強化指定選手チーム対抗戦(平成28年12月4日～8日:フェニックスカントリークラブ)に、8地区強化指定選手合同体力強化合宿(男子:平成29年1月26日～29日、女子:平成29年1月30日～2月2日、フェニックス・シーガイア・リゾート、フェニックスゴルフアカデミー)派遣した。

また、第1回指定強化選手のトレーニング合宿(平成29年2月11日～12日)を松山市野外活動センター、エリエールゴルフクラブ松山において、JGAトレーナーやPGA・LPGA講師を招いて実施し、次回合宿を4月4日～5日に実施することとしているなど、ナショナルチーム入りを目指す選手の育成に取り組んでいくことにしている。



第1回指定強化選手のトレーニング合宿
(平成29年2月11・12日)

【男子強化選手】

名前	県名	学年 (4月進級後)
加藤 渉	香川	高2
中川 聖太	徳島	高2
野田倫汰郎	香川	高1
香川 凜央	愛媛	高1
亀井 壮汰	香川	高1
杉原 光紀	香川	中3
加藤 将	香川	中2
田村 軍馬	愛媛	中1

【女子強化選手】

名前	県名	学年 (4月進級後)
手束 雅	徳島	高2
大西 菜生	愛媛	高2
木内 真衣	香川	高2
三瀬 舞凜	愛媛	高1
石川 夢香	愛媛	高1
マニックスジョイ	愛媛	高1
島勝ひなた	徳島	中2
三瀬 舞愛	愛媛	中2
城戸 姫菜	愛媛	中1

第70回四国グランドシニア会秋季競技

=土佐山田ゴルフ倶楽部(11/2) =

四国ゴルフ連盟加盟倶楽部会員の有志(男70歳・女60歳以上)で組織する四国グランドシニア会の第70回秋季ゴルフ競技が、平成28年11月2日、土佐山田ゴルフ倶楽部で開催された。参加者は男性48名、女性7名、総数55名。

1年に一度秋季大会だけで行われる選手権の部、アンダーハンディの部とも白鳥英二さん(JクラシックG)が優勝した。

今回は5月9日(火)滝の宮カントリークラブで開催されます。



白鳥英二さん

第70回四国グランドシニア会秋季競技 (Par72 男子:5,622yd 女子:5,269yd)

順位	氏名	所属	NET	GRSS
優勝	白鳥 英二	JクラシックG	71	76
2	藤田 正義	詫間C	71	79
3	増田 定	こんびらLG	72	91
4	山本三十四	琴平C	72	77
5	岡部 厚雄	パシフィックG	72	78
6	長岡 耕作	こんびらLG	73	85
7	藤岡 一助	土佐C	73	84
8	元澤 稔	新琴南G	73	99
9	鴨井 康彦	こんびらLG	73	83
10	土岐 毅	こんびらLG	73	95

【選手権の部】

順位	氏名	所属	GRSS
優勝	白鳥 英二	JクラシックG	76
2	山本三十四	琴平C	77
3	岡部 厚雄	パシフィックG	78

【80歳以上ベスグロ】

長岡 耕作	こんびらLG	85
-------	--------	----

【女子ベスグロ】

濱口 靖子	パシフィックG	86
-------	---------	----

ギヤラリー席

〈ゴルフは叩くほど楽しい〉

D・ロイド・ジョージは第一次大戦中、1916年に不屈な戦闘的な闘志と政治手腕を買われ英国の首相となり第一次大戦を勝利に導き、英国民から救国の英雄と称賛されている政治家です。彼はウォルトン・ヒース・ゴルフクラブの会員で、名手ジェームス・ブレードに習いながら上手にならず、一生ダツファーで終わりましたが、心からゴルフを愛した人です。彼の言葉である「ゴルフが一番下手なプレイヤーが一番得をする唯一のゲームだ。下手ほど多くの運動ができ、多く楽しむことができる。なぜなら上手いプレイヤーは僅かのミスにもくよくよするが、下手なプレイヤーはくよくよするにはあまりにもミスが多すぎる」とは、昔から欧米のゴルフ名言集には常に収録されている言葉です。

イギリスの古い小話にこんなものがあります。老年になってからゴルフを始め、たちまちゴルフ狂になった一人の老人が、ある時、連れの若いゴルファーに「わしはあんたよりずっとゴルフを愉しんでいるよ」。若いゴルファーが不審そうな顔で、「いや、僕のほうが愉しんでいますよ」と言うと、老人は、「どうかね、でも、ゴルフの愉しみはボールを打つことにあるのだよ。あんたはワンラウンドで僅か90回くらいだが、わしは200回も打つのだよ」。そう言えば全くその通りですね。

スコットランドの古い諺にも「幸いなるかな、ダツファーよ。君は誰よりも多く歩き、誰よりも多く叩いているよ」。この言葉から見ると、日本のアマチュアはゴルフを愉しむのではなく、苦しんでいるとも言えますね。自分のハンディを上げることを考えて練習ばかりをやっています。欧米の人達は自分の持っているハンディの中で結構楽しんでます。私がオーストラリアのゴルフ場で、コース傍のコンドミニウムで泊まっている時、朝早くからラウンドしている中年のご夫妻が、奥さんが笑ってばかりいるので見てみますと、奥さんは上手く旦那の方は全くのダツファーで、失敗ばかりするのを見て奥さんが笑うのです。聞いてみましたら、奥さんはハンディ10、旦那は30だそうです。失敗を笑うはずです。しかし、旦那は「僕は仕事があるので家内のように練習できないよ」と平然としていました。その時、日本人だったらあのように旦那が平然とできるだろうかと思いました。(手島皓一)

わがコースの名物ホール その11

道後ゴルフ倶楽部

アウトコース4番ホール
Par4 (BT440Y、RT400Y)

眼下に松山城と松山市街を一望し、瀬戸内海を望むコースです。オープン以降県内で初めて、女子プロトーナメント競技（1988年～1998年・11年間）開催を契機に、コース改造を続け、プレーをより面白くしています。

アウト4番ホールは、雄大な市内を一望する打ち下しのホールです。落下地点には、クロスバンカーがあり、右に打つと林越えのグリーンを狙う難しいホールです。クロスバンカーを超えると比較的優しいホールとなります。

正確な方向性が求められるホールです。



わがコースの名物ホール その12

松山国際ゴルフ倶楽部

インコース17番ホール

当倶楽部は1970年7月にオープンし、県下でも20コース中5番目に誕生した古くて難攻不落のトリッキーなコースです。アウトコースは上りと下りが織り成すダイナミックなホールが続き、インコースは上級者向きで戦略性が求められるコースセッティングとなっています。フェアウェーは全箇所、ライが傾斜しておりホール幅も狭く、中々気が抜けません。グリーンは姫高麗使用で、平均面積500㎡とやや広め、夏でも軽いタッチで球足は伸びていきます。

このようなコースセッティングの中で、当倶楽部の名物ホールはインコースNO17ホールです。

ミドルホールPar 4、レギュラー427ヤード。左ドッグレッグでティグラウンドからグリーンまでの高低差が約50メートル。セカンド地点へのショットは狭く円形上のフェアウェーに正確なショットが要求されます。右は内側^{のりめん}法面のブッシュが広がり、左側は谷が待ち受けていて大変プレッシャーの掛かるティショットが要求されます。第2打地点の形状も決して平らではなく、ダウンヒルによるライからのショットは非常に難しく、打ち下ろしですが見た目以上に距離があり中々パーオンの確率は望めません。グリーンも、奥から手前に傾斜が厳しくパッティングも要注意で、非常に難易度の高いホールです。



〈事務局からのお知らせ〉

◆ Team SJ Golf

本年度からジュニア指定強化選手を「Team SJ Golf」として強化活動の充実を図ることとしており、ナショナルチームメンバーとなるだけでなく世界に飛躍していくことを願っています。

◆ 28年度の加盟倶楽部の入場者数

平成28年度の年間入場者数は、2,209,932人（対前年34,200人の減）で長期的な減少が続いています。このため、若年層や女性の新規ゴルファーの開拓、シニア層のリタイア抑制やプレイ頻度のアップなど、四国ゴルフの普及振興のための取組みを関係者が連携協力して企画実施していく必要があることなど、総務委員会などにおいて意見交換がなされました。

◆ グランドシニア会春季大会のお知らせ

5月9日（火）に本年度のグランドシニア選手権競技の開催クラブである滝の宮カントリークラブ（愛媛県）で開催します。参加資格は、四国ゴルフ連盟に加盟している倶楽部の会員で、数え歳男性70歳以上、女性60歳以上です。お仲間を誘い合わせて是非、ご参加ください。